

令和3年2月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

2月期の景況DI値は、一般機器及び小売業が好転した一方、食料品及び商店街において悪化するなど、業種間でバラつきがあるものの、全体としては、1月期と同程度の水準で停滞している。

県内においては、新型コロナウイルス感染者数は減少傾向にあるものの、大都市圏における「緊急事態宣言」の継続は、地方においても人の流れを止め、消費を冷え込ませており、直接的・間接的に多くの業種の売り上げに影響を及ぼしている。

新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されたものの、依然として収束が見通せない中、受注や売上の増加は暫く見込めず、今後も、厳しい状況が続くと予測している。

山口県の主要指標DI値（令和3年2月末現在）

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 $(\text{＜好転＞} - \text{＜悪化＞} = \text{＜DI値＞})$

前年同月比は、好転：0.0% 悪化：56.3% DI値：▲56.3% ポイント

売上高 $(\text{＜増加＞} - \text{＜減少＞} = \text{＜DI値＞})$

前年同月比は、増加：5.0% 減少：55.0% DI値：▲50.0% ポイント










収益状況 $(\text{＜好転＞} - \text{＜悪化＞} = \text{＜DI値＞})$

前年同月比は、好転：1.3% 悪化：57.5% DI値：▲56.2% ポイント

山口県の業種別DI値(業界の景況)（令和3年2月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲77.8	▲33.3	▲66.7	▲100.0	▲50.0	▲25.0	0.0	▲51.5
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業	全 体
▲60.0	▲75.0	▲100.0	▲63.6	▲36.4	▲42.9	▲100.0	▲59.6	▲56.3
								

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	個人消費に支えられているが、飲食業他業務用の売上が回復しない。令和2年の緊急事態宣言時からの売上の回復状況は、約50～60%で厳しい。	調味料製造業
	緊急事態宣言が続き、公共交通機関売店の土産菓子の動きが鈍い。バレンタインデーも県内菓子店は縮小して販売した。空港内売店は一時的に閉店もできるようになったが、家賃は減免されず、負担が減少するのは人件費のみである。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	学校給食関係の注文が大幅に減少している。	パン・菓子製造業 下関市
	1月の店舗売上合計は対前年▲25%と激減。GoToトラベル停止や都市部緊急事態宣言発出による観光客利用の大幅減少や、大雪による営業期間短縮や臨時休館で大きなマイナスとなった。2月は2/23時点で対前年▲20%に近い大幅な減少。観光客利用の減少と降雪（2/19・20）による来館者の減少が響いている。隣接公園の河津桜が2/20に一斉開花し客足は増えてきているが、今後についても売上回復する好要因は見つからず、対前年2～3割程度のマイナス傾向で推移すると予測している。	水産食料品製造業 萩市
	観光関連商品の動きが非常に悪く、今後の予測がつかない状況。魚の水揚げが少なく、設備の一部が休眠状態である。大型自動煮釜機や冷風乾燥機等に余裕がある。	水産食料品製造業 長門市
	新型コロナウイルスがなかなか落ち着かず、ベトナム人技能実習生の出入国が難しい状況は変わっていない。最近になり少しずつ入国の可能性も出てきているようなので、飛行機が早く通常運航になることを願っている。	水産食料品製造業 下関市
	組合員業況の第一の問題点は原料不足・原料の高騰にあり、幅広い事業拡大に至らない事である。コロナ禍の自粛状況下の現在では多少だぶつき気味であるが、解除後に生食関係の需要が回復すると確保が困難となる。また、地元観光地の客入りは3月に入り回復傾向にあるが、今後の新型コロナウイルスの影響が予測できないため、売上の予測が立てづらい状況である。2月は関東関西・福岡の受注が無く、売上は特に悪く、前年の30%前後の減少である。	

	<p>新型コロナウイルスの蔓延に伴い緊急事態宣言が延長されるなど、各種イベントが中止となり、経済活動の厳しい状況が続いている。今後は、ソーシャルディスタンスに基づく経営活動を遂行していただくための中小企業向けの支援対策、具体的には、デジタルトランスフォーメーションなどの施策を早急に充実させることが必要となる。そのためには、これ以上、新型コロナウイルスが蔓延して感染爆発をおこさないように、検査体制の拡充、クラスターの早急な把握と感染者の迅速な隔離が必要だと考える。また、ワクチンの普及などを通じた集団免疫対策を講じることで、経済活動との両立を図ることが必要となる。政府は脱炭素社会の実現を図ることを正式に発表した。新しく発足したアメリカのバイデン政権も、政府関係調達車両を全て電気自動車にするなど、脱炭素社会への実現に向けた、取り組みが急速に進行している。日本においてもバスなどの公共交通機関やトラック運送、鉄道などについても、全て燃料電池車に切り替えるように、積極的に取り組む必要がある。水素ステーションの拡充や、現在、稼働していない原子力発電についても、極力稼働させるようにし、自然エネルギーの利用も含め、火力発電の比率を、将来的には0にするぐらいの改革も必要となる。</p>	精穀・製粉業
繊維工業	<p>新型コロナウイルスの影響が出てきている。一品目のロット数量が小さくなって効率が悪化している。</p>	外衣・シャツ製造業 山口市
	<p>6月予定の技能実習生の検定試験はどのような対応になるのかが心配である。</p>	外衣・シャツ製造業 山陽小野田市
木材・木製品	<p>引き合いのあった2件について、なんとか受注が出来そうである。</p>	製材業・木製品製造業 岩国市
	<p>2月売上の対前年比は組合員平均で約20%程度の減少。公共建築物の新築・改修工事に関する受注が皆無の状況であり、今後も厳しい状況が続くと思われる。</p>	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	<p>新型コロナウイルスの緊急事態宣言が継続され、景気動向にも不安感が広がっている。印刷業界は部門別の出版関係は常態で推移しているものの、商業印刷、とりわけチラシ等は大幅に減少しており、山口県内でも出版も取り扱う印刷業者の売上減少は僅かであるのに対して、商業印刷を主たる業務とする印刷業者の状況は深刻であり、雇用調整助成金で何とかしのいでいるというのが実情である。その中、ワクチン接種が始まったのは明るい材料であり、今後、世間に安心感がひろがれば、景気も好転していくのではないかと期待している。</p>	印刷 下関市
	<p>新型コロナウイルスの影響で各種行事等が中止となり、報告書印刷も無くなり、閑散とした年度末を迎えている。</p>	印刷 山口市

窯業・土石製品	出荷量は、 (令和2年2月)骨材97%、路盤材81%、再生材74% ↓ (令和3年2月)骨材86%、路盤材85%、再生材111%	砕石製造業
	出荷量は、前月比69%、前年同月比81%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。	生コンクリート製造業 山口市
	昨年度は特需工事(コンビナート等の設備投資)が複数あったため、今年度売上高は減少となっている。	生コンクリート製造業 周南市
	最近、仕事の依頼が増えてきたという声をよく聞く。仕事量を見ながら、従業員数や雇用の見直し等を行い、安定した収益が上がるようにしたい。	石工品製造業
	日本最大の陶磁器イベント、テーブルウェア・フェスティバルは新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン開催となった。萩市内の小売りは回復傾向にあるものの、売上は対前年比約50%となっている。百貨店や大都市小売店、ギフト関連の受注は前年比50%程度となっている。昨年末にスタートした萩焼協同組合のネット販売だが、売上は低迷。2月4日に写真撮影の研修会、2月17日にはFacebookの活用研修会を開催。売り上げアップに繋がればと考えている。	陶磁器・同関連製品製造業
一般機器	新型コロナウイルスの影響で、外国人技能実習生の面接が出来ず、引き続きリモート面接に変更し対応している。	一般機械器具製造業 岩国市
	雇用調整助成金を受給している組合員がある。	一般機械器具製造業 下松市
	1月に引き続き、周南地区における石油、化学、鉄鋼メーカーの大型のプラント定期補修工事など案件はなく、全体的には仕事量が落ち込んでいる。この中でも一部で設備投資案件があり、忙しい企業と、そうでない企業の差がでている。3月は期末になるので、駆け込みの依頼があることを期待している。	一般機械器具製造業 周南市
	新型コロナウイルス感染者の累計が増加している。中国との取引のある組合員は、追加工事を受注して活気を呈している。今年に入り、組合員の稼働状況は、上向き加減で推移している。人手不足が続いている。車メーカーのマツダの動きにより景況が左右する傾向にあるので、予断を許さない。	一般機械器具製造業 防府市
	新型コロナウイルスの蔓延による若干の影響はあるが、概ね事業確保は出来ている。但し、食肉、食品加工などの一部企業で売れ行きが悪化、機械加工で業務量の減少がみられ人手が余剰となってきている企業もあり、対応に苦慮している。一方、非常事態宣言に伴い外国人の入国が出来なくなり、人手不足から事業継	一般機械器具製造業 宇部市

	<p>続に支障が出てきている企業もあり、非常事態宣言の早期解除、入国制限の解除が望まれるところである。帰国については引き続き困難な状況であり、特定技能、特定活動への在留許可の切り替えにより対処しているが、この状況が長引くと、モチベーションの維持が難しくトラブルの発生につながることを懸念される。</p> <p>大きな変化は見られないが、自動車関連の需要が回復傾向にあることから、売上も改善しつつある。</p>	
輸送機器	<p>鉄道車両関係の受注は概ね2年先までの生産予定はあるが、世界的なコロナ禍の状況で減少することも見込まれる。国内車両関係では、受注の取り止め・先送り・減産等々、コロナ禍の影響が予想される。半導体は当初の予定より多少受注の減少が見られる。産業プラント部門が下松からの撤退発表を機に調整作業を行っている。新型コロナウイルスの流行により、取引各社の操業度が落ち込んでおり、受注の落ち込みが有る。</p>	鉄道車両・ 同部品製造業
卸売業	<p>倉庫売上は昨年に比べ、やや増加傾向であり新型コロナウイルスの影響はない。</p>	乾物卸売業
	<p>鉄鋼1次製品、2次製品を卸している組合員によると、コロナ禍で消費者がホームセンター等からプレハブ倉庫を購入し自宅に建てるケースが増え、プレハブ倉庫部門の売上が増加しているとのこと。</p>	各種商品卸売業
小売業	<p>新型コロナウイルスの新規感染者は減少傾向にあるものの売上は増加傾向に無い。2月にはメーカー化粧品等新商品が発売されたが、マスクが影響しているのか、売上のプラスにはなっていない。3月にはメーカーも決算月でキャンペーン等の実施もあり、売上のプラスとなるかもしれない。最近はPR用SNSに力を入れている店舗が増えてきている。</p>	化粧品小売業
	<p>令和2年産米の不良の煽りを受け、農家の購買意欲が著しく減退している。</p>	農業用機械器具小売業
	<p>家電の売上は対前年比で95%位である。寒波の凍結等で給湯器の買替え、エアコンの取替えの需要があった。</p>	機械器具小売業
	<p>3月を前にし、厳しい空気感は緩和してきたが、依然として売上回復には至らず、緊急事態宣言の一部解除やワクチンの投入など、気持ちだけ弛んできた様子。一部の飲食店では、ふたたび賑わいが生まれてきたが、いまなお企業・団体では会食に関する制限もあって、一気の回復は見込まれない。この時期は、安全確保を怠らぬようにして、一方でイベントや暮らしの賑わいを取り戻すように努める時期である。</p>	各種商品小売業 岩国市

	<p>商店街への来街者は前年同月より減少している。駐車場売上が減少し、組合員への共通駐車サービス券の販売も減少している。ホール売上げは、少人数の会議室利用は少ないながらも申し込みがあるが、大きなホールの展示販売等の利用は昨年から引き続いて、無い状況。売上は前年同月比およそ 40%の減少。</p>	<p>各種商品小売業 周南市</p>
	<p>寒波、大雪の影響で売上が下がっている。GoTo 商店街の申請を出しているが、審査がストップしているため販促活動に繋がっていない。</p>	<p>各種商品小売業 下関市</p>
商店街	<p>長年続いているイベントも、規模を縮小したものの出来る限り新型コロナウイルス対策を施し無事終えることができた。手厚い県の補助のお陰と心から感謝している。街が無機質になりつつある中で、少しの潤いになったものと思っている。</p>	<p>宇部市</p>
	<p>2月はプレミアム商品券の好影響で、売上は1月と横並びであるが、春シーズンの3月に入って売上がどのようになるのか心配している。商店主は「イベントの必要性がよくわかる。」と言い、イベントが開催できるように願っている。</p>	<p>萩市</p>
サービス業	<p>新型コロナウイルスの収束が見えない中でも例年通りの売上で推移してきたが、中下旬にかけて収束の兆しが見え、顧客の来店頻度が上昇してきた。昨年と違い、今年は卒業式等のセレモニーが開催されるとあって、昨年より 20%の売上増加が見込めそうである。</p>	<p>美容業</p>
	<p>寒さも和らぎ、新型コロナウイルス感染者の減少で少しずつ来店者が増加傾向にある。</p>	<p>理容業</p>
	<p>当組合の上部組織が毎年公表している「自動車特定整備事業の実態調査結果」が、今年も公表された。総整備売上高は、5兆6,561億円となり、前年度と比較すると345億円の微増という結果になり、4年連続で増加となった。整備作業内容別で見ると、事故整備のみが対前年と比較して892億円のマイナス（-0.79%）となり、自動車に装着される先進安全装置（衝突被害軽減ブレーキ等）の装着率が100%に近づきつつある中で、事故の減少が影響してきているものと思われる。しかし、車の钣金を主に取り扱う整備事業者にとっては、厳しい現状が見えてくる。</p>	<p>自動車整備業</p>
	<p>山口県内でもエリアにより状況は多少異なるが、都市部の緊急事態宣言の度に地方の消費が冷え込み、売上に大きく影響するので、大変である。</p>	<p>スポーツ・健康教授業</p>
	<p>2月も1月に続き悪かった。ただでさえ売上が低い時期であり、そこにコロナ禍の行動自粛がクリーニングに出す服の出番を激減させ、クリーニング需要に大きな影響を与えている。春の衣替え繁忙期が3月後半ごろからスタートするが、冬物の出番も少なかったと思</p>	<p>普通洗濯業</p>

	われるため、売上は例年より大きく減ると予測される。	
	山口県内感染者の減少により、少しお客様も戻って来られた感があるが、依然、厳しい状況である。	飲食業
	1月と変わらずJR売上は90%の減少となっている。3月末にて組合員1～2社が事業廃止の予定である。	旅行業
	対前年同月比で、宿泊人員44.7%、売上41.8%と前年同月を大きく下回る結果となった。会議、宴会が全くない状況で、総売上の減少が継続している。	旅館業 山口市
	人の流れが止まっている。	旅館業 下関市
	新型コロナウイルス及び積雪の影響により、施設利用者が激減した。売上高は浴場部門で25%の減額となった。重油等単価の値上げの影響と低温により加熱費が増加した。厳しい資金繰り状況が続く。	旅館業 長門市
建設業	中電への工事申請151件（当支部128件）、前年同月178件（同154件）。太陽光発電への申請36件（前年23件）、オール電化申請94件（前年112件）。LED街路灯への切り替え・新設申請12件（前年32件）であった。	電気工事業
	令和2年の決算が悪化している事業所が大幅に増えている。多くは新型コロナウイルスの影響」とみられ、加えてオリンピック絡みの工事の終了に伴う反動減と推測している。完成工事高の1～2割の減少・総工事利益率の数%の低下が営業利益の半減に繋がっている。	左官業
	組合では、組合員の民間工事についての絵図を水道局、警察、消防、市等に提出業務があり、例年、年度末は多忙となる。民間工事量は例年と変わらないが、事務局が1人体制となり大変忙しい。組合員は、1月寒波の修繕工事も2月に漸く済ませ、入札分工事もほぼ完了し残務整理をしている。コロナ禍、来年度の工事発注に期待をしている。	管工事業
	新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、感染拡大が、やや縮小傾向にあるものの、収束には、まだ当分分かりそうである。こうした中、当組合員の状況は、大きな変化は無いように思える。昨年、11月に発生した上関大橋の架橋事故も、暫定的ではあるが、14トン未満の通行が可能となり、それ以上の重量車は、臨時のフェリーが就航している。これにより、大型工事が再開している。	土木工事業 柳井市
	3年2月の受注高は、対前年同月71.4%。今年度の累計は、対前年比81.9%。	土木工事業 萩市
	土木工事については、ほぼ前年並みで推移。	土木工事業 長門市

	<p>新築木造家屋の着工件数は横ばいのようなのである。2月は実質の稼働日数が少ないため売上高は低調であった。</p>	屋根工事業
	<p>工事の延期等で工場稼働率が下がっている。見積物件が減少しているため、今後の状況に不安を感じている組合員が多い。</p>	鉄骨・鉄筋工事業
運輸業	<p>新型コロナウイルスに追われながらの1ヶ月。輸送量はやや増加したものの前年同月比0.8%のマイナス。輸出量は僅少ながら増加となった。国内向けは横ばい。燃料費は2.5円の値上げとなり、月毎の値上げの輸送量とのアンバランスに経営状態は苦しい月である。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	<p>輸送取扱高については未だ前年比20%程度の減少。燃料費は昨年末から上昇に転じている。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市
	<p>運送関係は、相変わらず荷動きが鈍い。倉庫保管については、県内では空きがかなり出てきているとのこと。当組合関係は今のところは目立った保管案件の減少はない。製造関係の各種作業請負業務では案件がかなり増えてきており、かなり持ち直してきている。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市
	<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比▲58.4%（令和3年1月1日～令和3年2月20日分）。1月1日～31日分は▲59.6%、2月1日～20日分は▲56.4%。当組合の取扱いタクシー事業者は、光市、下松市、周南市、防府市の地域。1月分については、周南▲60.1%、下松▲70.1%、光▲68.4%、防府市地区が▲55.7%で、組合員の全域では▲61.2%、地区外（員外）▲39.3%、合計▲59.6% ▲11,561千円）。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。CPが上がり（前月495.0\$/トンが今月557.5\$/トン、前年567.5\$/トン）、輸送用バンカーC重油も上がり（前月425.0\$/トンが今月462.0\$/トン、前年666.0\$/トン）。為替は円高（前月104.84円/\$が104.69円/\$）。燃料単価は前月プラス4円/ℓ（+5.8%）となったが、前年2月も高騰したこともあり前年2月より▲3円/ℓ（-4.0%）。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足しており、人員不足もあって車両の稼働率は下がっている。現金利用の多い個人利用客はもう少し良いようだが、法人利用の多い当組合のチケットでは、出張移動や会合などの自粛により、たいへん厳しい数字となった。本地区でのコロナ感染者の発生は減少しているが、夜間の飲食関係は全く回復していない。コロナによる大幅な影響が出て1年になる。回復時期の目途もなかなか立たず、たいへん厳しい状態が続いている。</p>	一般旅客自動車運送業

	売上は前年同月と比べると微増であるが、前々年同月と比べると横這い状況である。	港湾運送業 小野田市
	各組合員とも、取扱高は増加したが、継続的な増加は見込めない。	港湾運送業 下関市
その他	緊急事態宣言の延長を受け、出入国の状況が心配である。	介護事業